

中小企業景況調査報告

(第3四半期)

2022年10月～12月期実績

2023年1月～3月期予測

2022年度当福山北商工会は、中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定を受けました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

1.調査要領

(1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、令和3年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

(2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

*製造業3社、建設業2社、小売業4社、サービス業6社

(3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

(4) 調査機関

2022年10月～12月期実施

(5) 調査時点

2022年11月15日

(6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50-20= (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）*DI値のみ

業種	今期の状況 (2022年10月～12月)		次期の見通し (2023年1月～3月)
	前年同期 (2021年7月～9月)に比べて	前期 (2022年4月～6月)に比べて	次期 (2022年7月～9月)に比べて 来期の見通し
製造業	±0	±0	±0
建設業	±0	±0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	±0	±0	±0

製造業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 3 社

項目	状況	今期の状況 (2022年10月～12月)		次期の見通し (2023年1月～3月)
		前年同期 (2021年10月～12月)に比べて	前期 (2022年7月～9月)に比べて	次期 (2022年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	3	3	3
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上 (加工)額	増加	2	2	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	66.7	
売上 (加工)単価	増加	2	2	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	66.7	
売上 (加工)数量	増加	2	2	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	66.7	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	3	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100		
採算 (経常利益)	好転	1	/	/
	不変	2		
	悪化	0		
	D・I	33.3		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

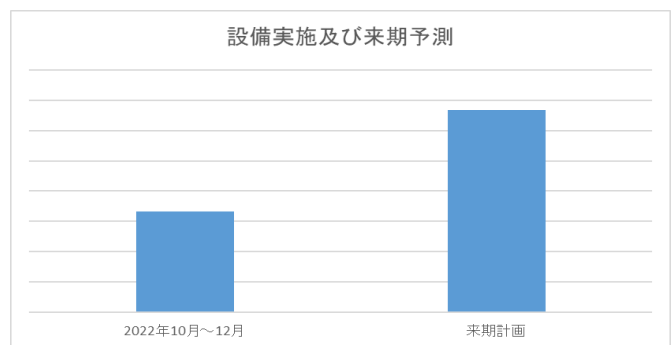
回答 3 事業所の内、1 事業所が実施。

内訳：OA 機器、生産設備

【来期計画内容】

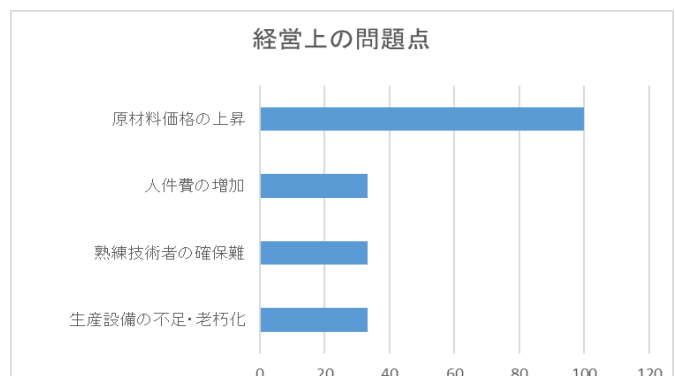
回答 3 事業所の内、2 事業所が計画。

内訳：生産設備



○今期の経営上の問題点

今期は、「原材料価格の上昇」が多く聞かれた。また、人員に係る意見を多くいただいた。



建設業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2022年10月～12月)		次期の見通し (2023年1月～3月)
		前年同期 (2021年10月～12月)に比べて	前期 (2022年7月～9月)に比べて	次期 (2022年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	50	50	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	2		
	減少	0		
	D・I	±0		
材料仕入単価	増加	2	/	/
	不変	0		
	減少	0		
	D・I	100		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	1	1	
	悪化	1	1	
	D・I	▲50	▲50	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	1		
	悪化	1		
	D・I	▲50		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答2事業所の内、設備実施無し。

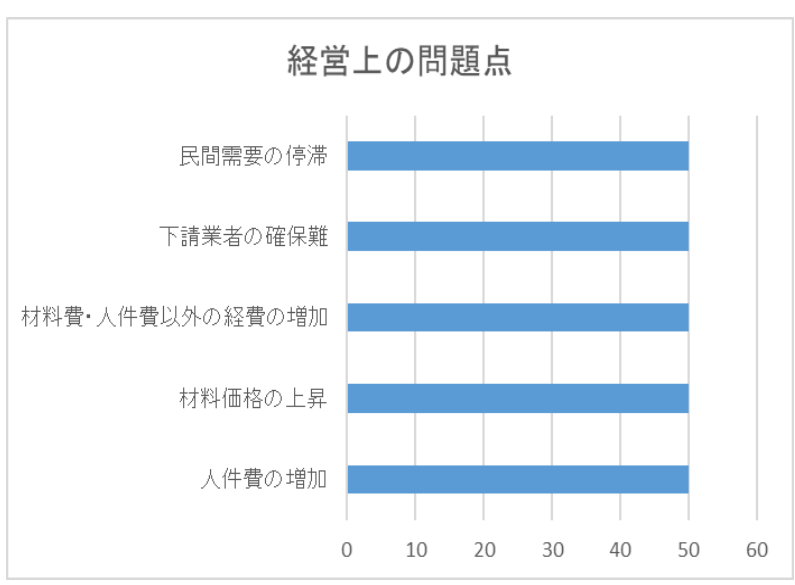
【来期計画内容】

回答2事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今期は、「民間需要の停滞」や経費、人に関する意見を多くいただき経営環境の更なる厳しさが浮き彫りとなる結果となった。



小 売 業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数4社

項目	状況	今期の状況 (2022年10月～12月)		次期の見通し (2023年1月～3月)
		前年同期 (2021年10月～12月)に比べて	前期 (2022年7月～9月)に比べて	次期 (2022年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	4	4	4
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	4	4	
	減少	0	0	
	D・I	±0	±0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	3	3	
	低下	1	1	
	D・I	▲25	▲25	
商品仕入単価	上昇	4	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100.0		
商品仕入額	増加	0	/	/
	不変	4		
	減少	0		
	D・I	±0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	4		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	4	4	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	4		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答4事業所の内、実施無し。

【来期計画内容】

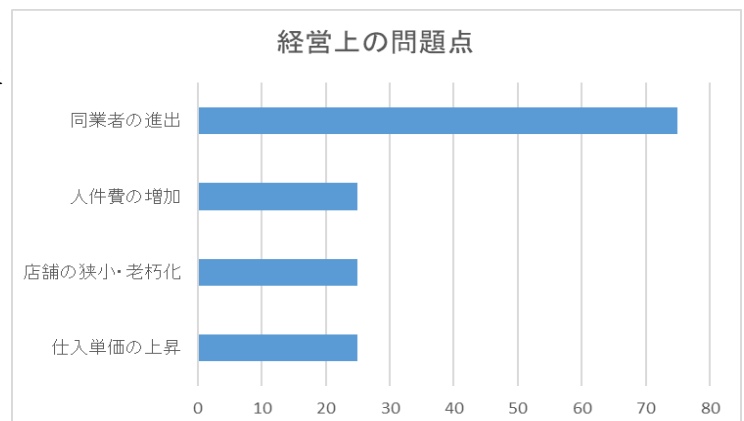
回答4事業所の内、計画未定。



○今期の経営上の問題点

今期は、「同業者の進出」の意見を多くいただいた。

また、仕入れや人件費についての増加の意見が聞かれた。



サービス業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 6 社

項目	状況	今期の状況 (2022年10月～12月)		次期の見通し (2023年1月～3月)
		前年同期 (2021年10月～12月)に比べて	前期 (2022年7月～9月)に比べて	次期 (2022年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	6	6	6
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上(収入)額	増加	0	0	/
	不変	6	6	
	減少	0	0	
	D・I	±0	±0	
客単価	上昇	1	1	/
	不変	4	4	
	低下	1	1	
	D・I	±0	±0	
仕入単価(材料等)	上昇	6	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100.0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	6	6	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	3		
	悪化	3		
	D・I	▲50		

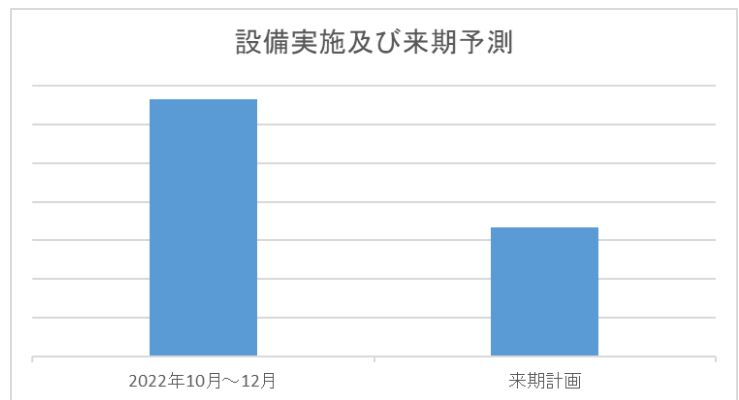
○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答 6 事業所の内、2 事業所実施。
内訳：サービス設備、その他

【来期計画内容】

回答 6 事業所の内、1 事業所計画。
内訳：その他



○今期の経営上の問題点

今回は、「材料等仕入れ単価の上昇」や
「人件費の増加」などコストに関する意見を多くいただいた。

